

同一労働同一賃金の中間報告

同一労働同一賃金って何???

同じ仕事には同じ賃金を支払いたいという考え方です。欧州で始まった考え方と言われており、元々は性別や宗教、人種によって給料に差をつけてはならないとする考え方でした。

今のままじゃダメなの???

いわゆる非正規雇用(アルバイト・パート・契約社員等)の賃金が、地域の賃金相場や会社の経営状況に大きく左右されたり、正社員は昇給するのに、非正規雇用の人達は昇給しにくい現実があります。ボーナスや、福利厚生(会社が支払う、金銭以外の報酬)も一定の格差が生じ、早急の改善が必要です。欧州では正社員の給与を100%とした場合、いわゆる非正規の方々は80%~90%の賃金ですが、**日本では60%以下の賃金水準**になっています。



〈稲田政調会長へ中間報告提出〉

私が事務局長を務める「同一労働同一賃金プロジェクトチーム」において、中間報告をしてきました。今後、具体的にどう取り組んでいけばいいかを盛り込み、実現に向け取り組んでいきます。

○内容

日本が目指す同一労働同一賃金とは何か

正社員の処遇の引き下げではなく、非正規雇用の賃上げを目指す
職務内容(しごとの内容)に相当する賃金は、雇用形態に関わらず、同一とする
パート・アルバイトにも昇給制度を設ける

ガイドライン(指針・目標)の策定を行う

実効性を持たせるため、政府がガイドラインを策定する
効果的な行政指導を行い、雇用による待遇の格差を見直す

企業支援の抜本的強化を図る

非正規雇用の処遇改善のため、2020年頃までに最低賃金の全国平均1,000円を目指す
中小企業の生産性向上・取引条件の改善を進めていく
大都市と地方の最低賃金格差を縮小すべく、効果のある支援策を講じる

羽田空港への乗り入れ計画

国交省の交通政策審議会が公表した「首都圏の鉄道整備に関する答申案」に、新木場駅でのJR京葉線とりんかい線の相互直通運転、りんかい線の羽田空港乗り入れのためのアクセス新線の開設などが盛り込まれました。これが実現されれば、京葉線が羽田直通になります。




京葉線の利便性向上のため、県・市と協力して頑張っています。

中小企業への支援に向けた取り組み

新年度、中小・小規模企業を支援すべく、様々な取り組みがスタートしました。その一部をご紹介します。

- 窓口相談の強化 ワンストップ化
- 地域と連携した特産品開発・観光開発
- 海外展開等に取り組む事業者の支援
- IT活用による新サービスの開発支援
- 起業費用の補助
- 中小企業への人材紹介
- 商店街を活性化するための整備・空き店舗への誘致支援
- 中小企業・小規模事業者と農林漁業者との連携によるサービス開発支援

衆議院議員	自民党国会対策副委員長 衆議院議院運営委員会理事	藺浦 健太郎	自由民主党千葉県第五選挙区支部
	<p>主な役職</p> <p>子供の貧困対策推進議連 事務局長</p> <p>同一労働・同一賃金検証プロジェクトチーム 事務局長</p> <p>自民党スポーツ立国調査会 副幹事長</p> <p>自民党雇用問題調査会 事務局次長</p> <p>憲法改正推進本部 事務局長補佐</p>		<p>地元事務所</p> <p>〒272-0021 千葉県市川市八幡2-16-20-203</p> <p>TEL: 047-318-1001 fax: 047-336-8801</p> <p>国会事務所</p> <p>〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館321</p> <p>TEL (代表): 03-3581-5111 fax: 03-3508-3305</p> <p>TEL (直通): 03-3508-7305 内線: 50321</p>

そのけんニュース

発行 自由民主党千葉県
第五選挙区支部長

衆議院議員

そのうら けんたろう
蘭浦 健太郎

平成28年(2016年)
No.28-特別号
討議資料

衆院予算委員会質疑

2月3日、衆院第一委員室にて開かれた衆院予算委員会総括質疑(全閣僚出席)において、質問に立ちました。その一部をご紹介します。



子供の貧困対策について

蘭浦健太郎…平成25年に、子供の貧困対策法を作らせて頂きました。それを受け、政府が今後取り組んでいく方向性を取り決めた子供の貧困対策大綱を作りました。しかし、食材や教材費の確保が大変だという話を伺います。ここは政府が企業をまとめ、活動を支援していく枠組みを作成していく必要があるかと思いますが、意見をお伺い致します。

加藤一億総活躍担当大臣…今年度の予算に盛り込んでおりますが、国民・企業・NPOもあわせて社会全体で進めていく事が必要です。貧困の実態は中々把握しにくく、状況が多様である中、様々な方に活動して頂いております。政府としても、民間資金による子供の未来応援基金を活用して、NPO等の支援を行っていきます。

一人親家庭について

蘭浦健太郎…子供がいる世帯で、いわゆる一人親の家庭の貧困率は、54.6%と高い数字にあります。児童扶養手当の拡充は盛り込まれましたが、一軒一軒に応じた全体の支援パッケージを作る事が大切だと思いますが、意見をお伺い致します。

塩崎厚労大臣…昨年12月、子供の安心と希望の実現プロジェクトをまとめましたが、まず自治体に様々な支援策があるにも関わらず、中々たどり着かない、それをワンストップ化し、使い勝手よくしていきます。また、給付金の充実・一人親家庭などの保育料の軽減措置を強化していきます。

子供の貧困対策に関する決意

蘭浦健太郎…明治以降の急激な近代化、また戦後の急速な復興は、我が国の次の世代を担う人材を育ててきたからこそ成し遂げられてきました。私自身、日本というのは人材立国でなければならぬと考えますが、総理に子供の貧困対策に関する取り組みのご決意をお伺い致します。



安倍内閣総理大臣…国の活力というのは言わば、若い人達や子供達が、自分が頑張れば自分の夢を紡いでいけることができる、確信のもとに頑張っていく、そういう社会こそが活力を維持することができると思います。我々はしっかりと子供の貧困対策に取り組んでいきたいし、全ての子供たちが頑張れば夢が叶えられる社会にしていきたいと思っております。子供たちの未来が家庭の経済状況によって左右されることのない日本を、しっかりと作っていきたく思います。

JBIC(国際協力銀行)について

藺浦健太郎…昨年、総理には中央アジアを全部回って頂きましたが、感じたのはJBICに対する期待です。銀行のため、融資に対して厳しい審査がある事は承知しておりますが、JBICからお金を借りて様々なインフラ整備をしたいという期待がございます。もう少しJBICが国の後押しのもとにリスクを取った融資というものを考えていきたいと思いますが、意見をお伺い致します。

麻生財務大臣…海外インフラ事業は、国家としても極めて重要な課題です。インフラ事業者に対して現地通貨建ての融資というものを拡大するため、法律の改正を行うべく、準備を進めております。JBICのこれまで集積した経験等々を活かして、より積極的に海外にそういったプロジェクトに参加できるような環境整備というものをバックアップしていきたいと考えます。



中東問題について

藺浦健太郎…我が国のエネルギー安全保障という観点で見たときに、ペルシャ湾を含む中東地域全体の安全は、非常に重要です。そして今、イランが大きく動き始めています。昨年、イランを訪問し、ザリーフ外務大臣・核問題担当のアラグチ次官と会談致しました。そこで感じたのは、今度こそ国際社会に復帰するのだという、イラン側の強い決意と、彼らの言葉を借りると、ペルシャ帝国以来の友好国である日本と経済的な結びつきを強化したいということでした。伝統的な友好国である我が国が、出遅れる訳にはいかないと考えますが、イランとの首脳会談もしくはイラン訪問についてご検討されているかどうか、意見をお伺い致します。



安倍内閣総理大臣…イランとの関係においては、藺浦委員がおっしゃったように伝統的な友好関係があります。そこで、イランの重要性ですが、シリア問題、この地域の問題を解決していく上においては、イランとの建設的な関与が必要です。これまで首脳会談を4回行い、様々なレベルで伝統的な友好関係を築いてきましたが、一層の発展をさせるべく、適切な時期でのイラン訪問を積極的に検討していきたいと考えております。

イスラム過激派組織について

藺浦健太郎…昨年、イラクのクルド自治区を訪問しました。その中で、問題だと感じたのは、小学校はあるが、13歳から20歳位までの若い人達はすることが無く、学校もなければ職業訓練ができるわけでもありませんでした。ともすれば、過激派に勧誘され、テロ組織に入らないとも限りません。わが国の素晴らしい専門学校・専修学校をこの地域に持って行き、国の復興に関与するなどの対策が必要かと思いますが、大臣の考えをお伺い致します。



岸田外務大臣…教員訓練・学校建設に加え、職業訓練の支援も実施し、貧困層の底上げを図っております。藺浦委員、ご指摘の通り、高専を含む日本型教育の普及についてはJICAを通じて教員の派遣、あるいは研修員の受け入れ、こうした取り組みを今後も積極的に進めて参ります。